

## Ⅷ. その他の危険有害性情報の「見える化」

大型ダンプを使う造成工事で

### 橙色旗とヘルメットで荷降り位置の見える化



① 橙色の旗と同色のヘルメット着用の誘導員がダンプアップ位置を指示して荷卸し手前3mまで誘導する。



② 橙色の旗はダンプアップ位置に残し誘導員は5m以上離れてダンプアップの終了まで確認してオレンジ色の旗を次のダンプのダンプアップ位置に移動して待機する。

大型ダンプで構内道路を走行する造成現場で、固定した荷降ろしのダンプアップ場所は車止め・車両停止位置表示・固定した誘導員指示待機場所は整備されています。

しかし、仕分けや乾燥のため「平場での荷降ろし」する時は各ダンプごとにダンプアップする場所は変わりその都度誘導員が指示していますが、

- ① 後進するダンプからは誘導員が見えにくい。
- ② 誘導員はダンプアップ場所の近くで足許の悪い所で指示している。
- ③ 複数の荷降ろし場所があると運転手が場所を間違え前進後進を繰り返す。  
など課題がありました。



橙色旗は軽いため三脚やカラーコーンに差し込んで設置や移動が容易に出来ます。

大型ダンプは橙色の旗とヘルメットの誘導員の場所に分かりやすく導き誘導員はダンプアップ位置手前3mまで誘導してその後5m以上離れてダンプアップの終了まで確認して橙色黄色旗を次のダンプの荷降ろし位置に移動することでダンプとの挟まれ捲込まれ事故防止となっています。